

2016年12月期 第3四半期 決算説明資料



CNC超小型立形研削盤
USG-1

株式会社 太陽工機

将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

第3四半期 決算概要

損益計算書(P/L)

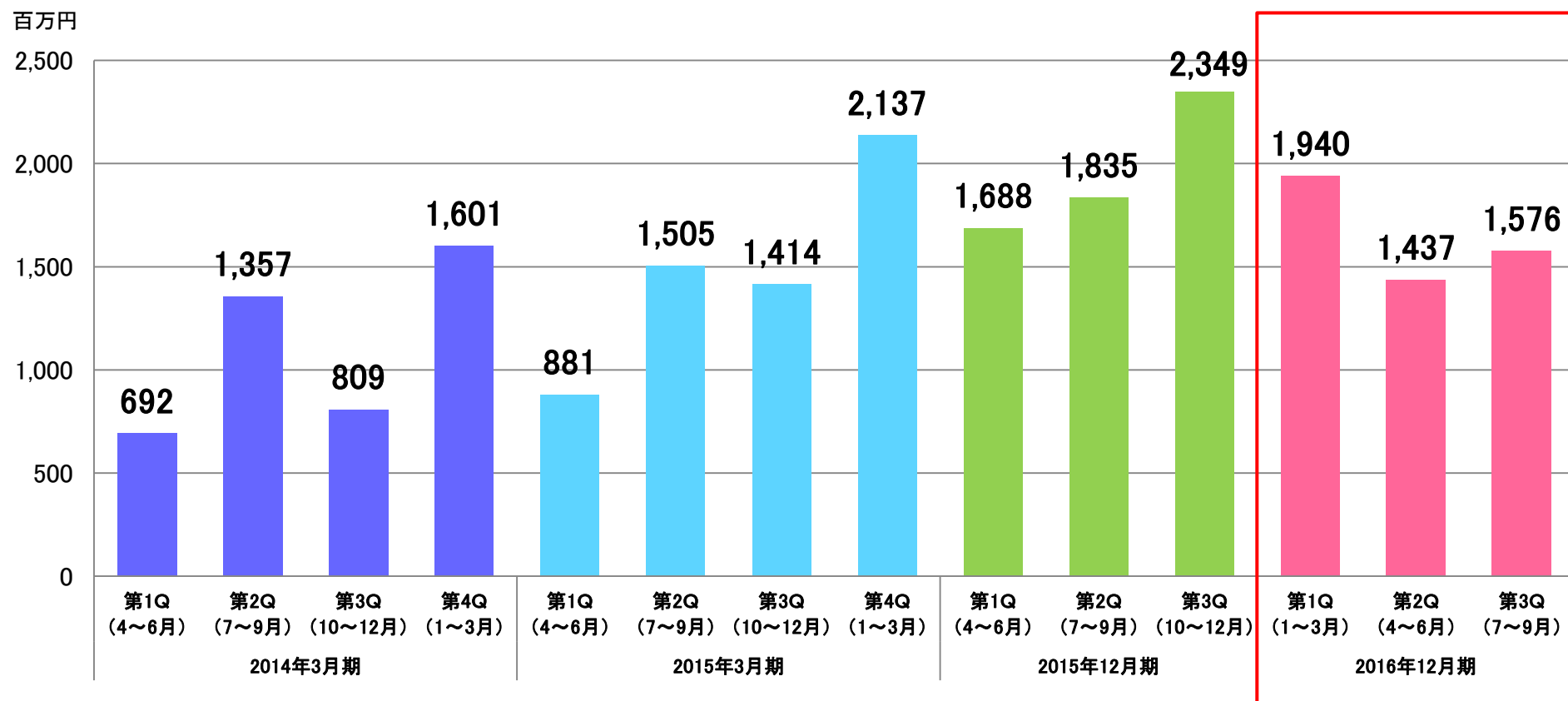
対前年同期比では減収減益となるものの業績は、ほぼ計画通りに推移。

	2016年12月期 第3四半期累計 (1～9月)		参考 2015年 (1～9月)
(百万円)	実績	対前年同期比	実績
売上高	4,955	12.5 %減	5,661
営業利益	573	38.5 %減	931
(営業利益率)	(11.6%)	4.9 point減	(16.5%)
経常利益	561	38.5 %減	913
税引前利益	563	38.3 %減	913
当期純利益	344	39.9 %減	572

※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっており、第3四半期財務諸表を作成していないため、2016年12月期 第3四半期決算短信においては、対前年同期比については記載をしておりません。
本資料では、今期と同期間となる2015年1～9月との比較を行っております。

売上高(四半期別推移)

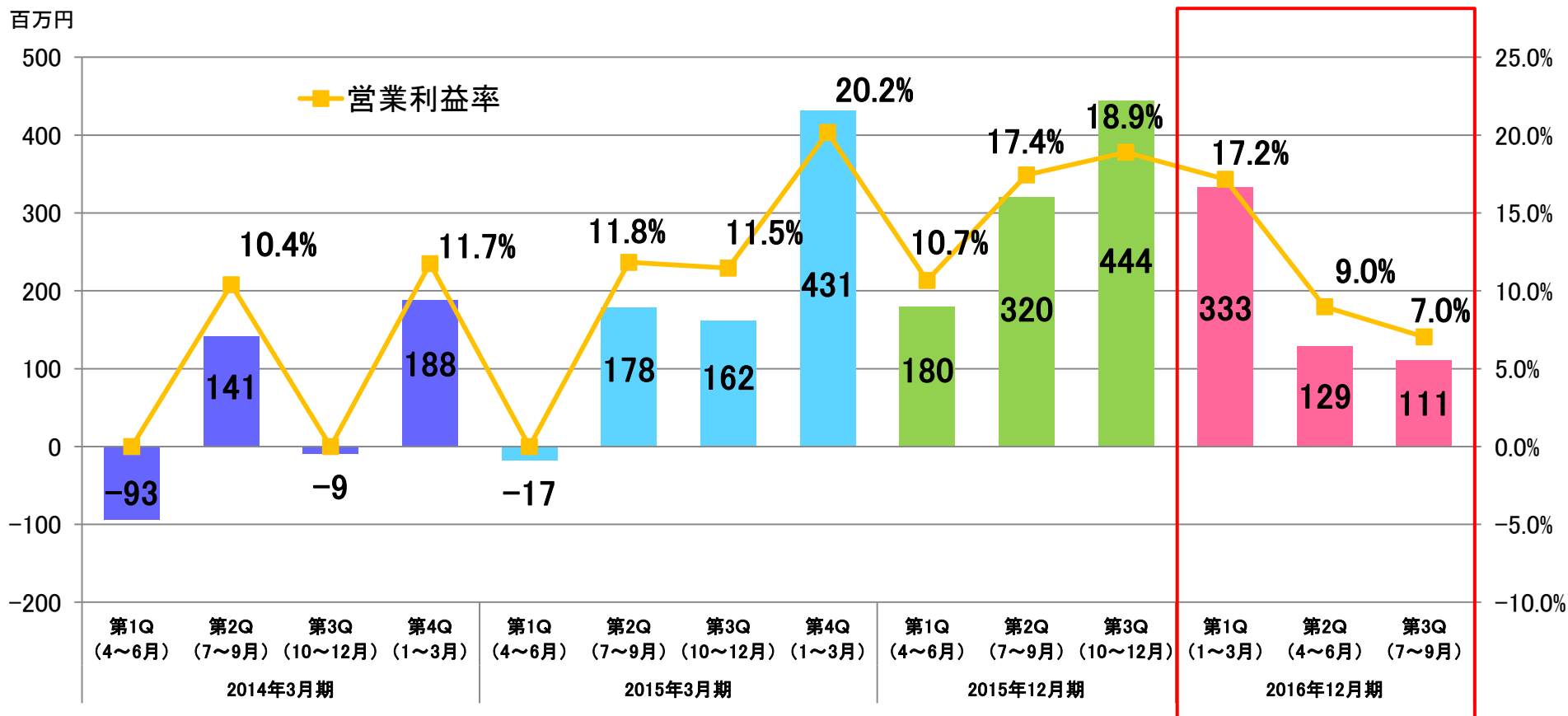
第2四半期以降は、期末に向け売上は増加傾向。



※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

営業利益(四半期別推移)

第3四半期は展示会費用等、一時的な販管費の増加により、営業利益は減少したが、期末に向けては増加する見込み。



※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

貸借対照表(B/S)

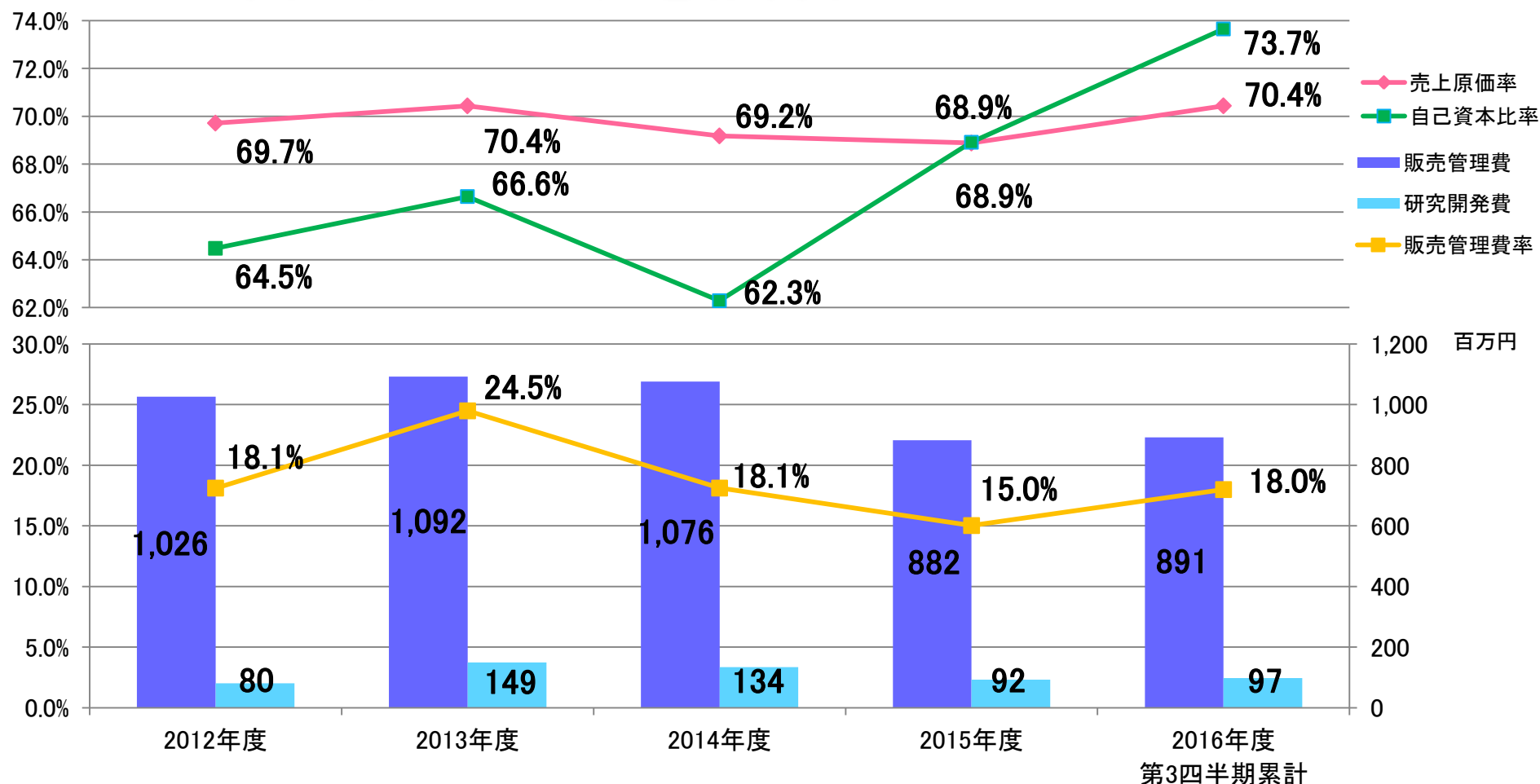
売掛金の回収により、現金及び預金が増加。

(百万円)	2015年度	2016年度	
	12月31日 実績	9月30日 実績	増減
資産の部			
流動資産	3,650	3,865	215
現金及び預金	286	716	430
売掛金	1,978	1,136	▲ 842
棚卸資産	1,261	1,327	66
関係会社短期貸付金	–	600	600
繰延税金資産	90	52	▲ 38
その他流動資産	34	33	▲ 1
固定資産	1,372	1,221	▲ 151
建物	670	607	▲ 63
土地	354	297	▲ 57
その他有形固定資産	233	201	▲ 32
無形固定資産	22	32	10
投資その他資産	91	82	▲ 9
資産合計	5,022	5,087	65

(百万円)	2015年度	2016年度	
	12月31日 実績	9月30日 実績	増減
負債純資産の部			
流動負債	917	746	▲ 171
買掛金	282	333	51
未払法人税等	163	46	▲ 117
製品保証引当金	64	42	▲ 22
役員賞与引当金	21	7	▲ 14
その他流動負債	386	316	▲ 70
固定負債	643	593	▲ 50
リース債務	610	563	▲ 47
その他固定負債	33	30	▲ 3
純資産	3,461	3,746	285
株主資本	3,461	3,746	285
負債純資産合計	5,022	5,087	65

売上原価率・販売管理費率・株主資本比率

利益の確保により、自己資本比率は70%台へ増加。
売上原価率は70%台を維持。



配当予想の修正

期末配当を当初計画の1株当たり20円から
40円に増配。

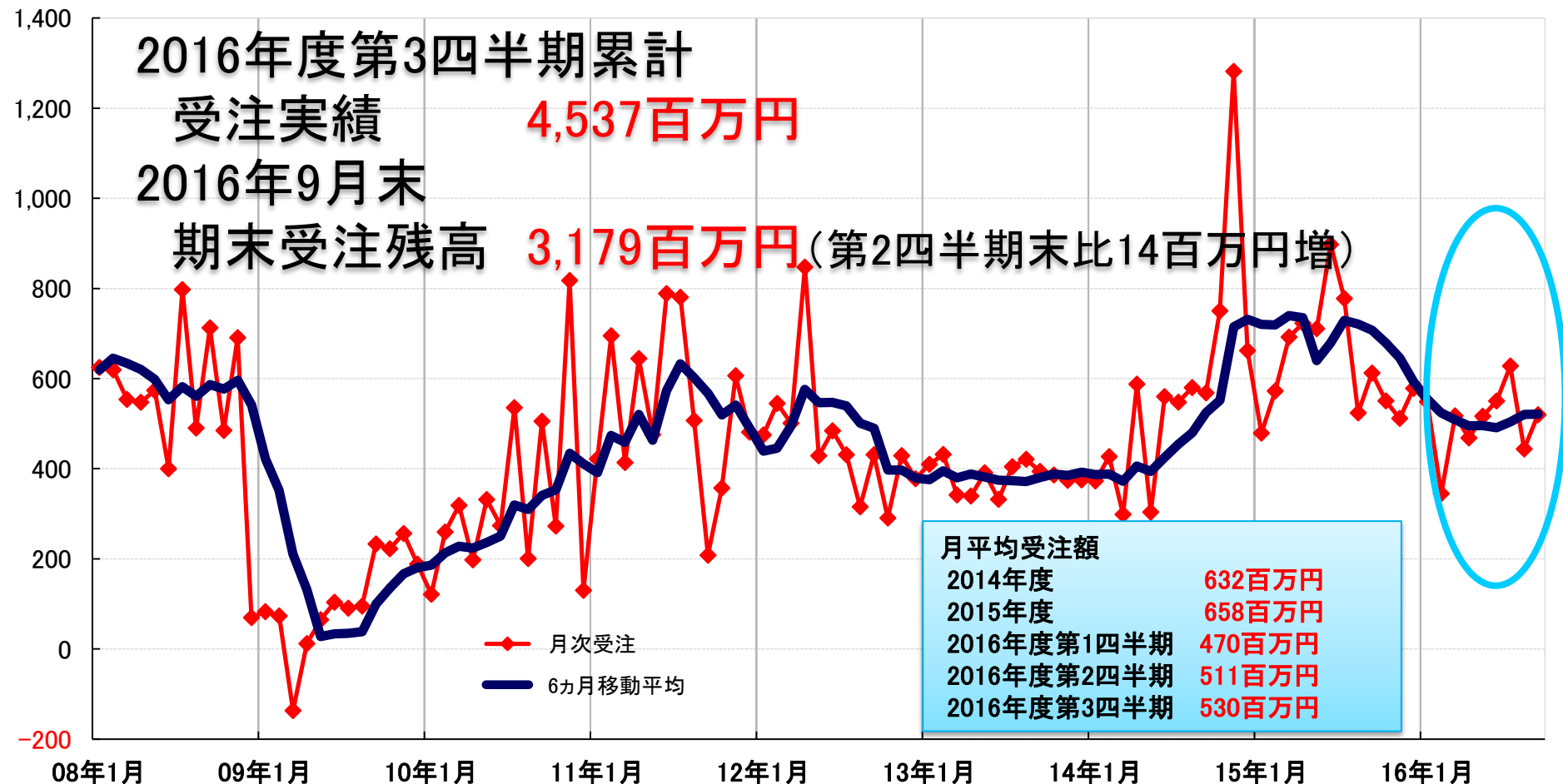
	売上高 (百万円)	当期純利益 (百万円)	期末配当	配当金総額 (千円)	配当性向
2013年度 実績	4,461	80	10円00銭	29,320	36.6%
2014年度 実績	5,939	447	12円00銭	35,260	7.9%
2015年度 実績	5,873	621	20円00銭	58,765	9.5%
2016年度 修正前	6,800	580	20円00銭	58,765	10.1%
2016年度 修正後	6,800	580	40円00銭	117,530	20.3%

受注高の推移

国内を中心に受注は堅調に推移。

2016年度の四半期別月平均受注額は徐々に増加。

(百万円)

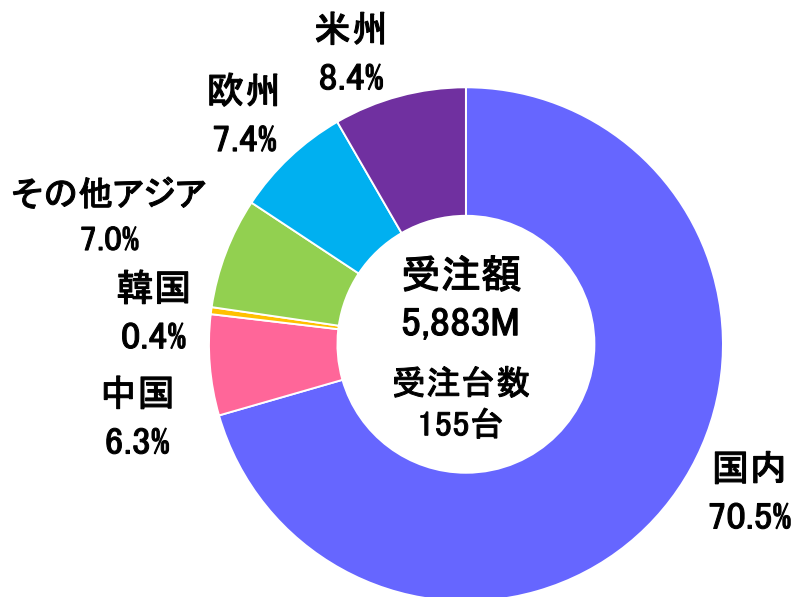


海外受注比率(据付地・受注金額ベース)

海外の現地ユーザからの受注が増加。

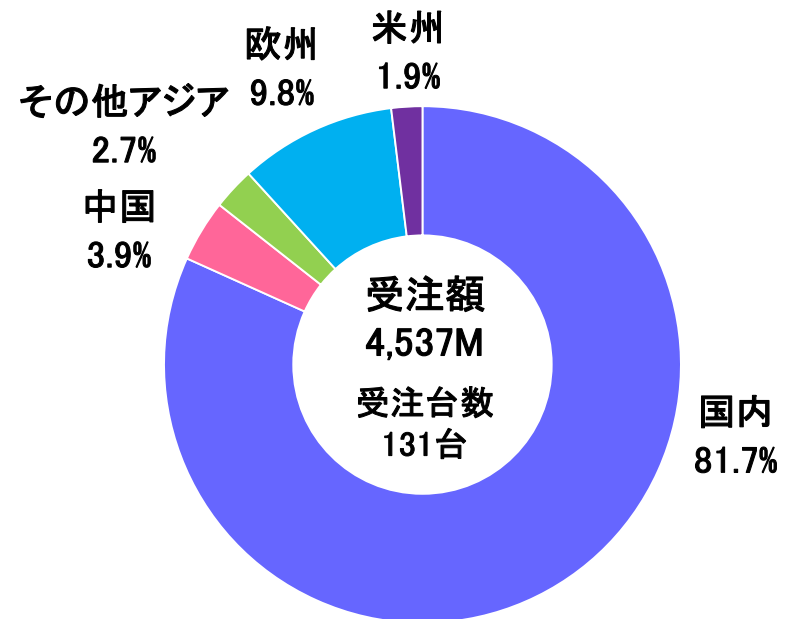
・ドイツやイタリア、スイス等の欧州地域の
現地ユーザから新規受注を獲得。

2015年度 通期



海外29.5%

2016年度 第3四半期累計

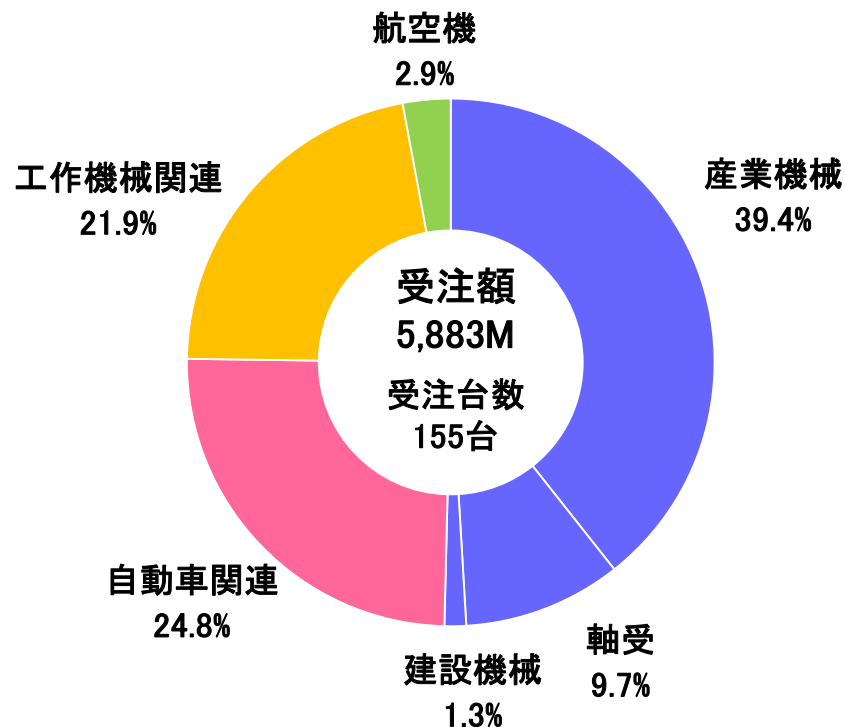


海外18.3%

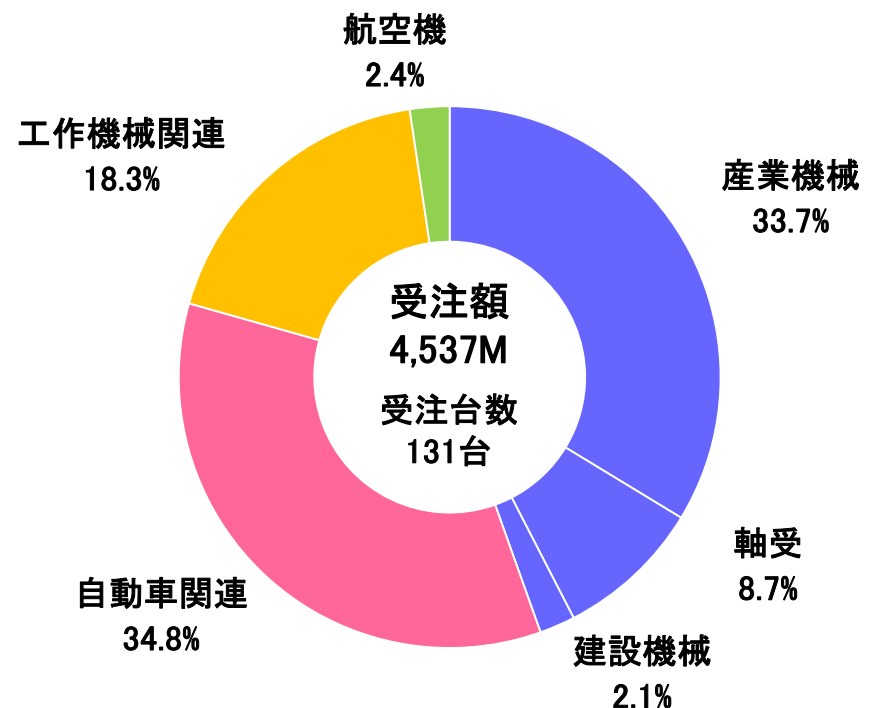
ユーザ業種別受注比率(受注金額ベース)

- ・国内の自動車関連企業から多数の複数台受注を獲得。
- ・産業機械関連企業、工作機械関連企業からの受注も堅調。

2015年度 通期



2016年度 第3四半期累計



当社の取り組み

太陽工機プライベートショー2016

2016年7月14日(木)～7月15日(金)

会場: 太陽工機本社工場



- ・前年度同様、1,000人を超えるお客様が来場。
- ・当初計画を上回る受注・引合を獲得。
- ・新製品「USG-1」を発表し、お客様から注目を集めた。

2016年度の新規開発 USG-1

フロアスペースの効率化を極限まで追求することで
工場の生産性向上を実現！



CNC超小型立形研削盤

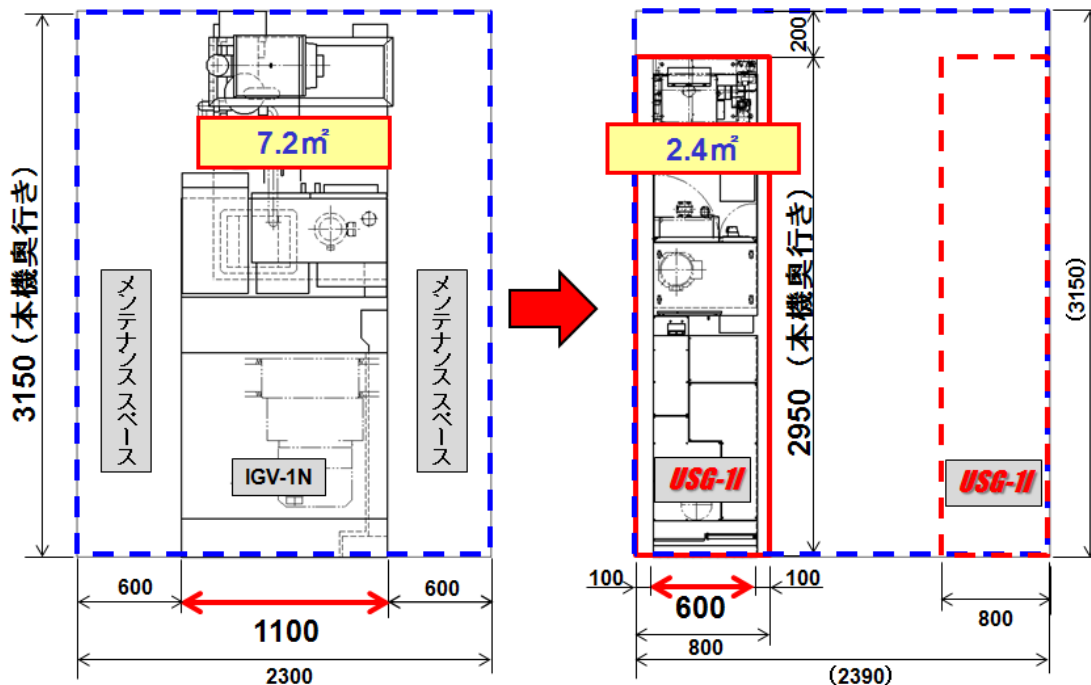
USG-1

2016年7月発売

本体価格 13,800千円＋税

販売目標 年間40台

機械間口を600mm(従来機比**45%削減**)にすることで、
工場のフロアスペースを**66%削減**。



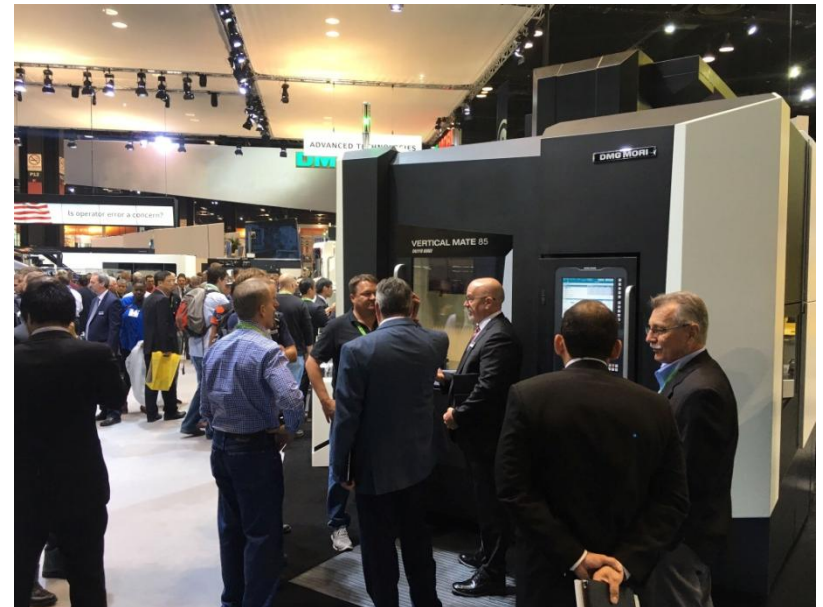
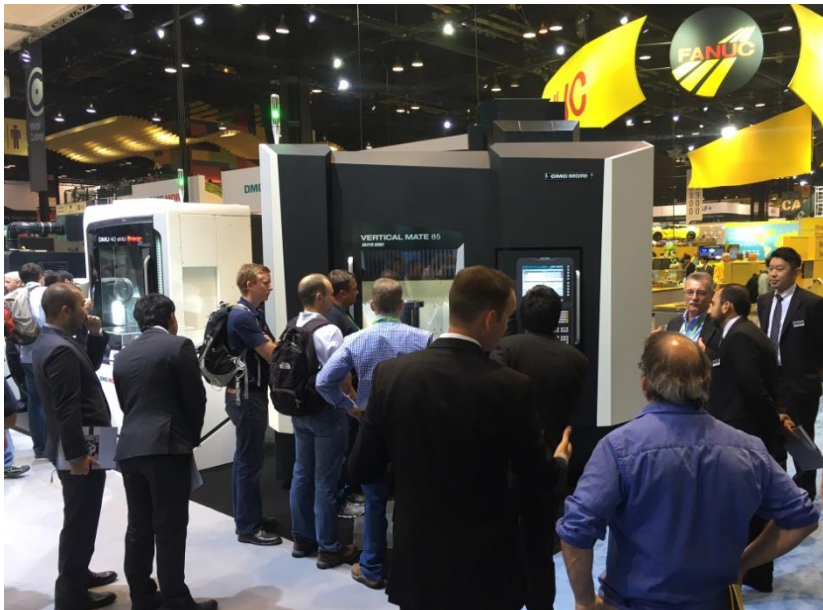
＜ターゲットユーザ・ターゲット部品＞

小型量産パーツメーカー向け・自動車用のミッションギア等を含む小型部品

IMTS2016(シカゴ国際製造技術展)

2016年9月12日(月)～9月17日(土)

会場: McCormick Place(イリノイ州シカゴ市)



- ・海外のお客様に当社製品をアピールする絶好の場となった。
- ・会期中に受注を獲得するとともに、多くの引合をいただいた。

営業施策

グローバル営業の強化

米州 <ターゲット業種> 航空機、建設機械、ベアリング 関連

- ・世界最大手メーカ ⇒ 中堅部品メーカへの展開
- ・ユーザへのダイレクトな技術提案営業の推進
- ・現地技術営業スタッフによる営業活動の強化
- ・サービスマンを駐在、メキシコを含む米州地域のサービス体制の強化

アジア(中国、韓国、台湾、他)

<ターゲット業種>

建設機械、産業機械、自動車 関連

- ・設備投資需要の掘り起こしを狙う

欧州

<ターゲット業種>

航空機、産業機械、自動車 関連

- ・新規ユーザの開拓に注力
- ・現地技術営業スタッフによる営業活動の強化

国内市場の掘り起こし

- ・自動車関連業界、工作機械関連業界への新製品の投入、拡販
- ・立形以外の横形研削盤、カムリング研削盤、ネジ研削盤の拡販
- ・リピートユーザのニーズ掘り起こし

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>